学校番号	404

令和5年度　　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	「　改訂版　化学　」（啓林館）						
副教材等	「　セミナー化学基礎＋化学　」（第一学習社）						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎基本的な内容を重視します。つまり教科書の内容をしっかりと理解することが最重要となります。今までの化学の授業内容を完璧に理解していることが求められます。
問題集に載っているようなオーソドックスな問題を着実に解けることが、入試での成果にもつながります。
繰り返しますがとにかく基本的な内容を完璧に暗記・理解する努力をしてください。

2. 学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関する考察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学的な事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査	授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査	授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査	授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	化学平衡	1.化学平衡とその移動 2.電離平衡	○	○		○	a：平衡移動の原理に興味をもつ。 b：平衡移動の原理を理解し，反応条件を変えたときの平衡移動の方向を判断できる。 c： d：塩の加水分解，弱酸・弱塩基の遊離，緩衝液，溶解度積について理解している。	提出物 定期考査
1学期後半	無機物質	1.典型元素 2.遷移元素 3.無機物質と人間生活	○		○	○	a：無機物質がその特徴を生かして人間生活に利用されていることに関心をもつ。 b： c：元素の性質を実験で確認することができる。 d：周期表と関連付けて、元素の性質を理解している。	提出物 定期考査
2学期前半	有機化合物（1）	1.炭化水素 2.官能基をもつ化合物	○	○	○	○	a：有機化合物がその特徴を生かして人間生活に利用されていることに関心をもつ。 b：構造と関連付けて、化合物を分類することができる。 c：化合物の性質を実験で確認することができる。 d：構造と関連付けて、化合物の性質を理解している。	提出物 定期考査
2学期後半	有機化合物（2）	3.芳香族化合物 4.有機化合物と人間生活	○	○	○	○	a：有機化合物がその特徴を生かして人間生活に利用されていることに関心をもつ。 b：構造と関連付けて、化合物を分類することができる。 c：化合物の性質を実験で確認することができる。 d：構造と関連付けて、化合物の性質を理解している。	提出物 定期考査
3学期	高分子化合物	1.合成高分子化合物 2.天然高分子化合物 3.高分子化合物と人間生活	○			○	a：高分子化合物がその特徴を生かして人間生活に利用されていることに関心をもつ。 b： c： d：高分子化合物の性質を理解している。	提出物 定期考査

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現

c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。